

第3回

摂津市上下水道事業 経営審議会

令和8年7月2日

摂津市上下水道部



本日の議題 「経営改善策について①」

- 1.前回の質問に対する回答について
- 2.スケジュールについて
- 3.水道料金の現状について
- 4.料金体系上の課題整理
- 5.料金算定のプロセスについて
- 6.総括原価算定と平均改定率について
- 7.今後のスケジュールについて

1. 前回の質問に対する回答について

Q.大口使用者とそれ以外の使用者の割合について

A.詳細は本日の議題の中(P10～11)でも説明いたしますが、令和7年度実績において、年間使用水量が1万m³以上の使用者は34者となっています。

当該使用者からの年間有収水量は約83万m³で、有収水量全体の8.7%を占めており、また給水収益は約3億8,000万円(税込)で、収益全体の19.8%を占めています。

Q.給水原価の水準が低い他事業体の事例分析について

A.有収水量1m³あたりの各費用(税抜き)について、本市と他事業体(B市)との令和6年度実績比較は右図のとおりです。
自己水割合が87.6%であるため、受水費が本市の金額を大きく下回ってる他、職員給与費、修繕費及び委託費が、本市の金額を下回っています。

また、本市とB市の年間有収水量は、約4.4倍の差が生じており、事業の規模による効果があると言えます。

	摂津市	B市
職員給与費	26.94円	16.46円
支払利息	5.03円	4.23円
減価償却費	41.52円	46.36円
動力費	9.99円	12.75円
修繕費	8.74円	4.29円
材料費	0.54円	0.35円
薬品費	1.99円	2.58円
受水費	62.15円	9.59円
委託費	32.48円	14.87円
その他	5.32円	5.65円
計	194.69円	117.11円

1. 前回の質問に対する回答について

Q.完全受水に切替した場合において発生する費用について

A.完全受水に切替を行う場合、太中浄水場の廃止が伴うため、当該施設の除却費用が発生します。また、安定した給水を維持するためには、既存の給水区域を変更する必要があり、新たな配水管の整備費用や水道事業計画の変更費用等が必要になります。収支見通しのシミュレーションは、前提条件の精査や比較検討を要するため、現時点ではそれらの数値の反映は困難です。

Q.将来見通し(シミュレーションの前提条件③④)の再精査について

A.水道料金における平均改定率を算出するにあたり、前回お示した収支の見通しの内容について精査を行いました。詳細は本日の議題の中(P23)で説明いたします。

Q.有収率の改善について

A.衛星画像を用いたAI解析による漏水箇所判定やAIを用いた配水管の劣化診断等の取組により、効率的かつ確実な管路修繕を進めています。これらの取り組みにより有収率は改善されるとし、当該指標の目標数値は94%としています。

2. スケジュールについて

●今後のスケジュール(案)

第1回

○審議内容
水道事業の現状と課題について①

- ・摂津市上下水道事業経営審議会について
- ・水道事業の概要について
- ・施設の現状について
- ・財源の状況について
- ・広域連携について

令和8年2月10日

第2回

○審議内容
水道事業の現状と課題について②

- ・収益的収入及び支出について
- ・財務状況について
- ・水道事業における課題整理
- ・将来見通しについて

令和8年4月15日

第3回

○審議内容
経営改善策について①

- ・水道料金の現状について
- ・料金体系上の課題整理
- ・料金算定のプロセスについて
- ・総括原価算定と平均改定率について

令和8年7月2日

第4回

○審議内容(案)
経営改善策について②

令和8年8月31日

第5回

○審議内容(案)
答申案の検討について

令和8年9月

第6回

○審議内容(案)
答申案の検討及び答申

令和8年10月

3. 水道料金の現状について

●本市の水道料金体系について

本市の水道料金は、使用水量の有無によらず発生する「基本料金」と、使用水量に応じて金額が変動する「従量料金」の合計により計算されます。また、水道メーターの口径や使用用途別(一般用、臨時用等)により料金体系は異なります。

料金単価表(一般用・1か月単位)

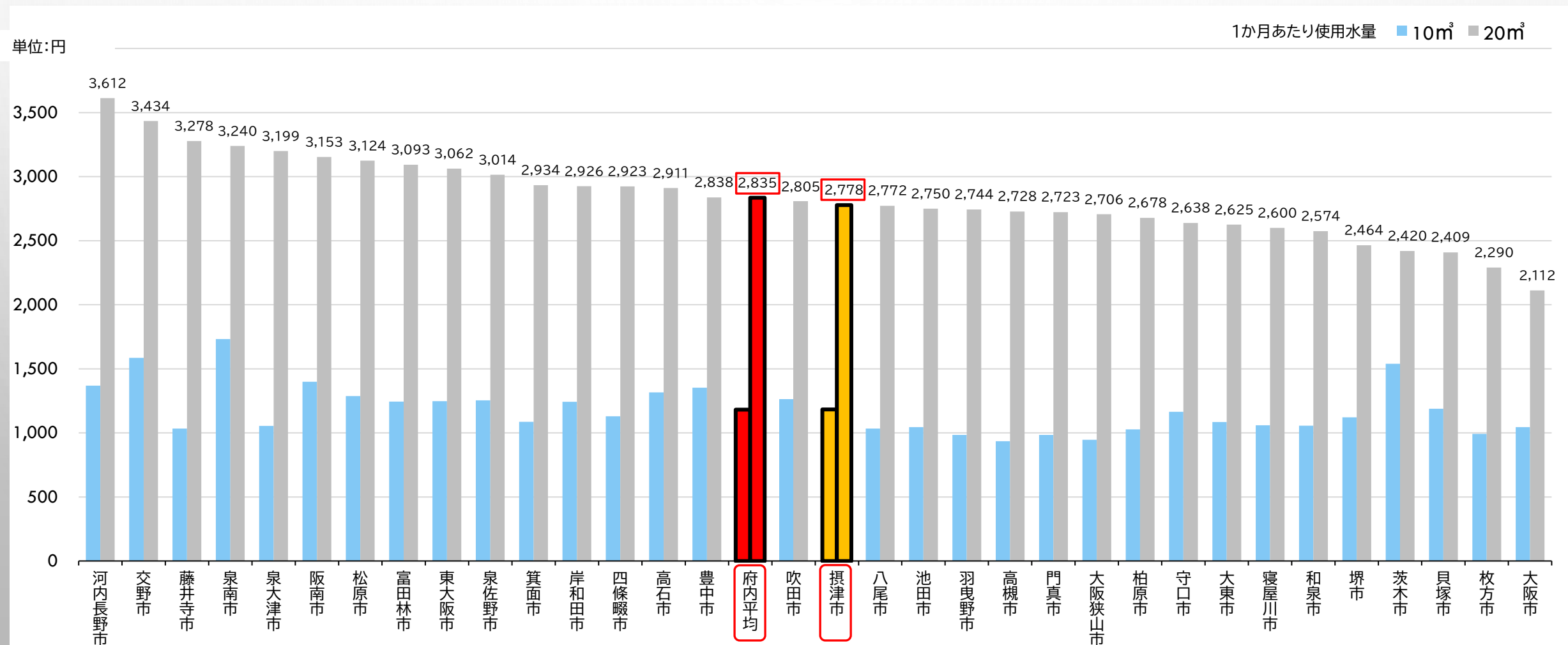
(消費税抜・円)

メーターの 口径	基本料金	従量料金(1m³につき)									
		1- 6m³	7- 8m³	9- 10m³	11- 20m³	21- 30m³	31- 50m³	51- 100m³	101- 500m³	501- 1,000m³	1,001m³ 以上
20mm以下	680	0	59	139	145	175	255	330	370	385	415
25mm	1,380	139									
40mm	6,400										
50mm	11,300										
75mm	30,600										
100mm	59,200										
150mm	158,000										
200mm	316,000										

3. 水道料金の現状について

●大阪府内事業体との水道料金の比較について

令和8年4月1日現在、摂津市の1か月あたりの水道料金(口径20mm・使用水量20m³の場合の基本料金+従量料金の税込金額)は2,778円で、大阪府内33市の中で中位に位置し、府内平均を57円下回っています。



3. 水道料金の現状について

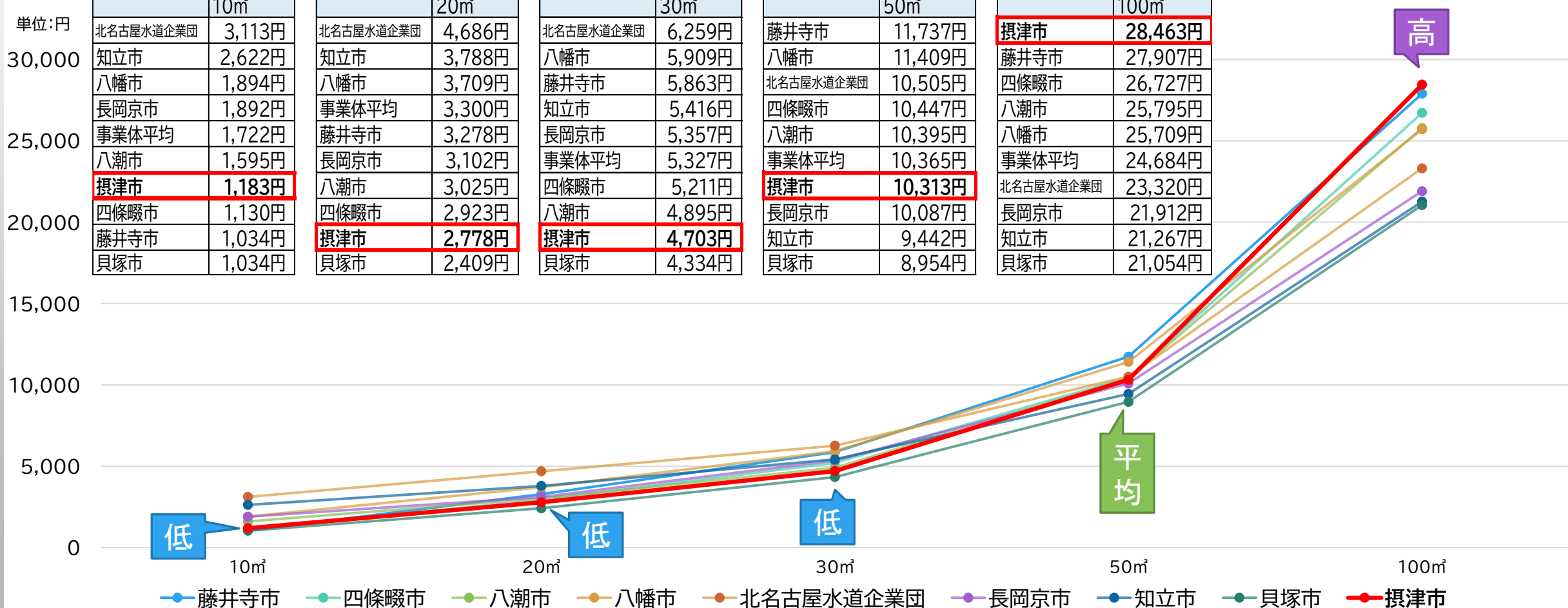
●類似事業体との水道料金の比較について

摂津市の水道料金(口径20mm・使用水量20m³の場合の基本料金+従量料金の税込金額)を類似事業体8市と比較した場合、使用水量が30m³以下の場合には平均を大きく下回りますが、50m³の場合には平均水準となり、100m³を使用する場合は、事業体の中で最も高い水準となります。

●1か月あたりの使用水量に対する水道料金(税込)の比較

	10m ³	20m ³	30m ³	50m ³	100m ³
北名古屋水道企業団	3,113円	北名古屋水道企業団 4,686円	北名古屋水道企業団 6,259円	藤井寺市 11,737円	摂津市 28,463円
知立市	2,622円	知立市 3,788円	八幡市 5,909円	八幡市 11,409円	藤井寺市 27,907円
八幡市	1,894円	八幡市 3,709円	藤井寺市 5,863円	北名古屋水道企業団 10,505円	四條畷市 26,727円
長岡京市	1,892円	事業体平均 3,300円	知立市 5,416円	四條畷市 10,447円	八潮市 25,795円
事業体平均	1,722円	藤井寺市 3,278円	長岡京市 5,357円	八潮市 10,395円	八幡市 25,709円
八潮市	1,595円	長岡京市 3,102円	事業体平均 5,327円	事業体平均 10,365円	事業体平均 24,684円
摂津市	1,183円	八潮市 3,025円	四條畷市 5,211円	摂津市 10,313円	北名古屋水道企業団 23,320円
四條畷市	1,130円	四條畷市 2,923円	八潮市 4,895円	長岡京市 10,087円	長岡京市 21,912円
藤井寺市	1,034円	摂津市 2,778円	摂津市 4,703円	知立市 9,442円	知立市 21,267円
貝塚市	1,034円	貝塚市 2,409円	貝塚市 4,334円	貝塚市 8,954円	貝塚市 21,054円

※消費税及びメーター使用料を含む



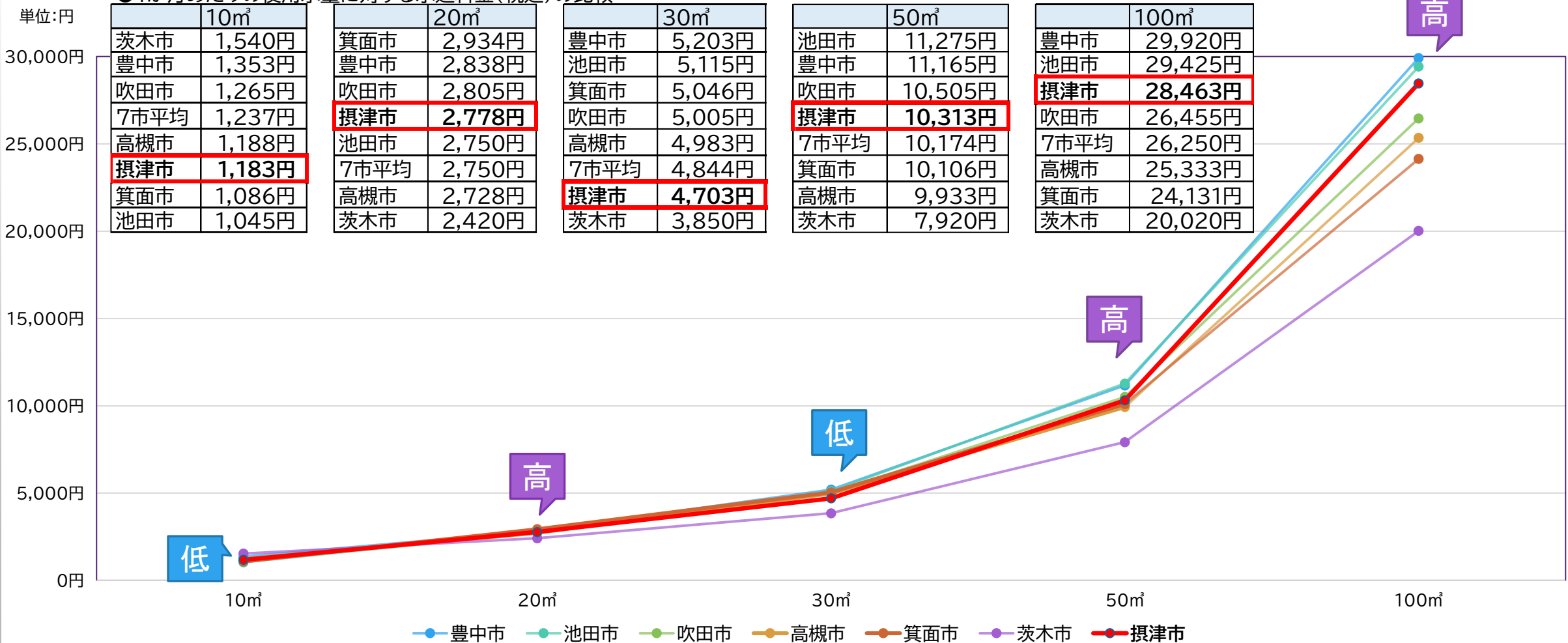
3. 水道料金の現状について

●北摂他市との水道料金の比較について

類似事業体と同条件で北摂7市と比較した場合、摂津市は、1月あたりの使用水量が10m³、30m³の場合は平均を下回りますが、20m³、50m³及び100m³を使用する場合は平均を上回ります。

※消費税及びメーター使用料を含む

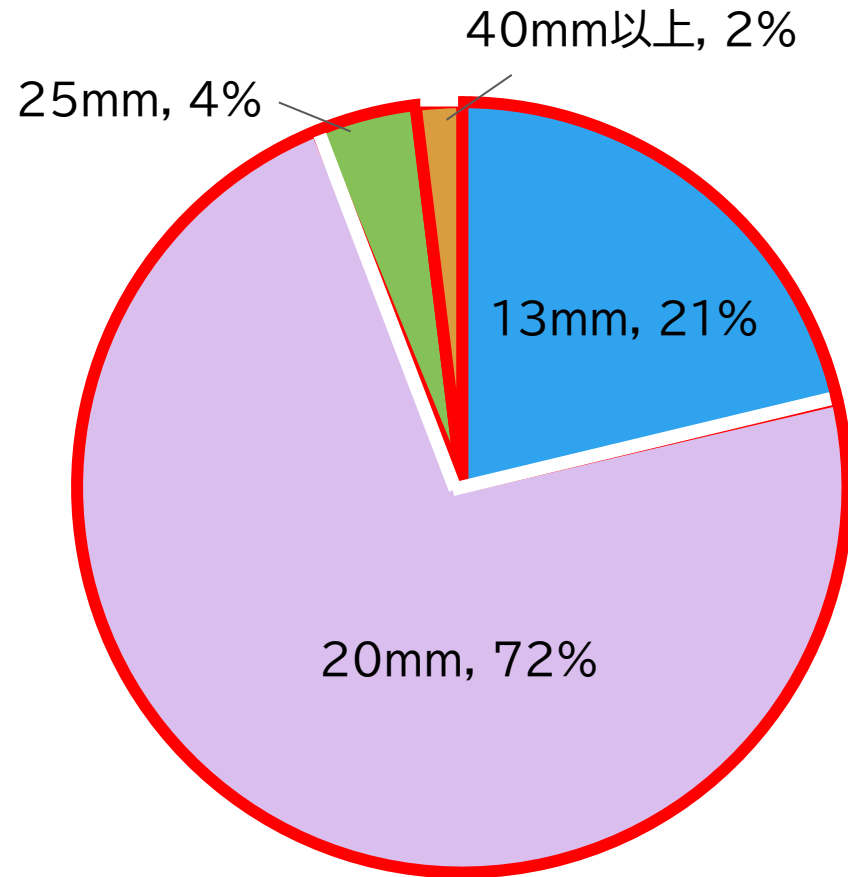
●1か月あたりの使用水量に対する水道料金(税込)の比較



3. 水道料金の現状について

●水道使用者の口径分布について

口径別メーター設置数割合



左図は、令和8年5月末現在で開栓中の水道使用者の口径別メーター設置数割合を示したものです。

摂津市の水道メーターの口径は、13mmから200mmまでの9種類となっており、料金体系上の区分は全て「一般用」ですが、使用者を分類すると、おおよそ口径25mm以下が一般家庭、口径40mm以上が企業などの事業者に分けられます(以下「一般家庭用」、「事業用」と表現します。)

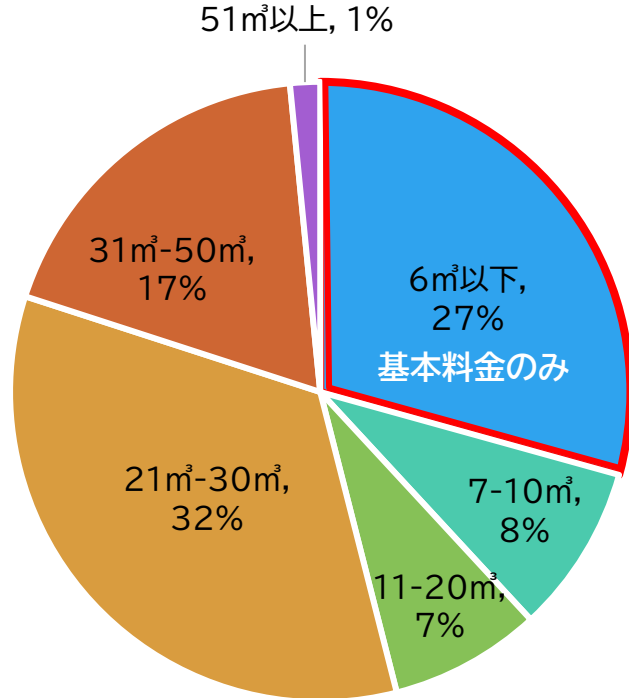
摂津市内に設置中の水道メーター数は約35,000個となっており、そのうち約98%が口径25mm以下の一般家庭用として設置されています。

したがって、摂津市の給水収益は、一般家庭用の水道料金の水準が大きく影響することとなっています。

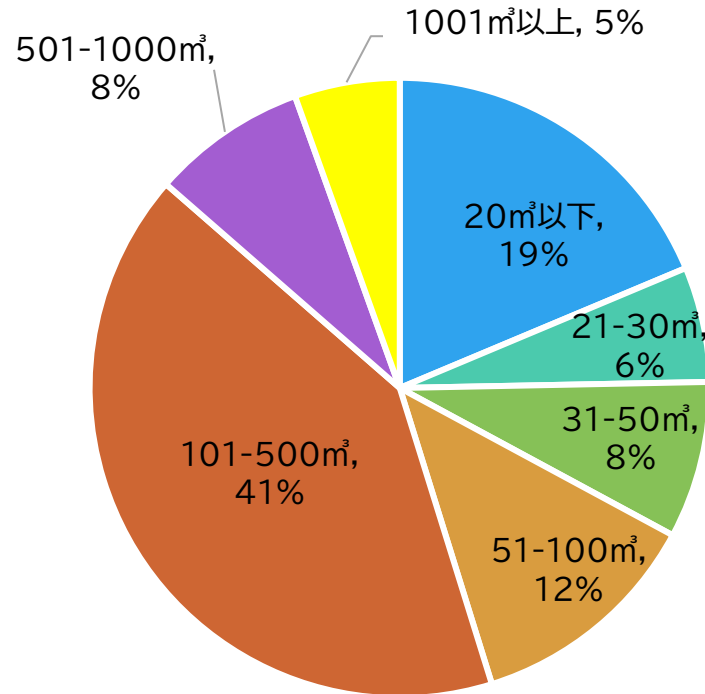
3. 水道料金の現状について

●使用水量区分ごとの構成割合について

口径25mm以下の
使用水量区分別の構成割合
1月あたり使用水量



口径40mm以上の
使用水量区分別の構成割合
1月あたり使用水量



左図は、一般家庭用(口径25mm以下)と事業用(口径40mm以上)別に、1か月あたりの使用水量区分ごとの構成割合を示したものです。

【一般家庭用】

使用水量が月6m³以下、21-30m³及び31-50m³の占める割合が多く、全体の1/4が基本料金のみの使用量(6m³以下)となっています。

【事業用】

101-500m³が41%と最も多く、類似事業体や北摂他事業体と比較して使用水量の多い事業所が多数を占めています。

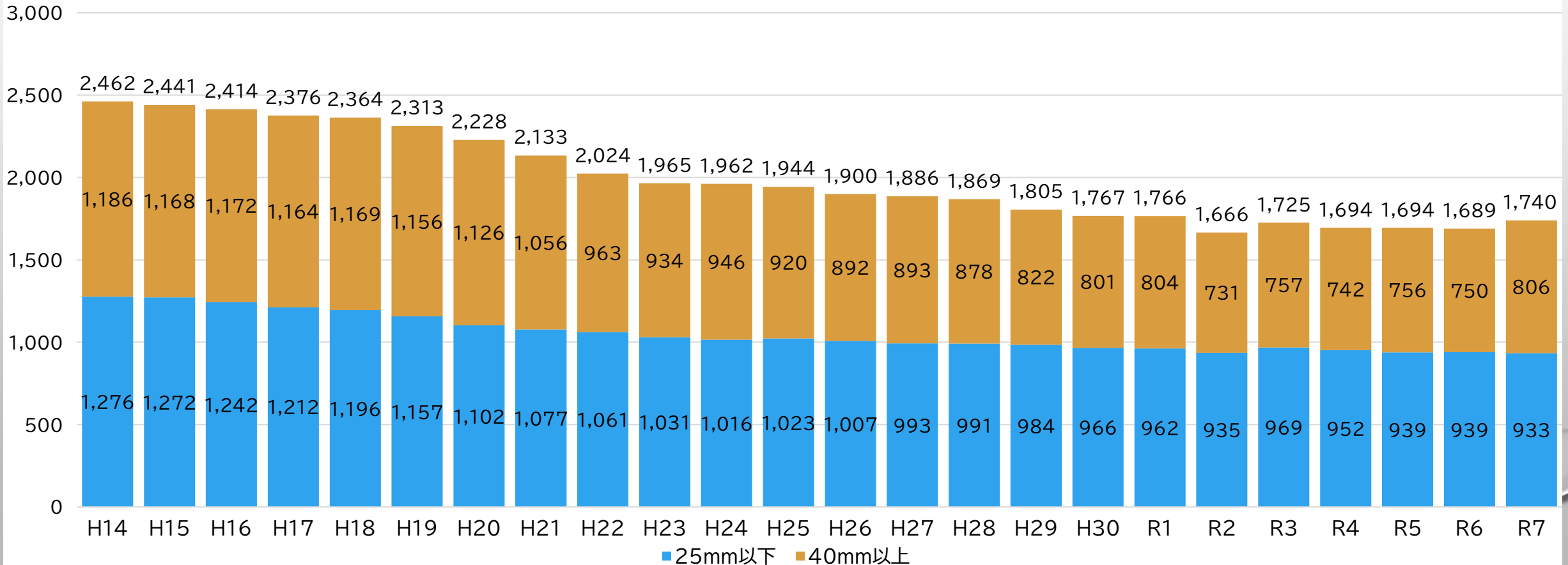
3. 水道料金の現状について

●口径別の給水収益の推移について

一般家庭用(口径25mm以下)及び事業用(40mm以上)の使用者の給水収益の推移は下図のとおりです。

全体件数の2%である事業用の使用者が収益の5割近くを占めており、事業用の使用者からの収益に依存する状況となっています。

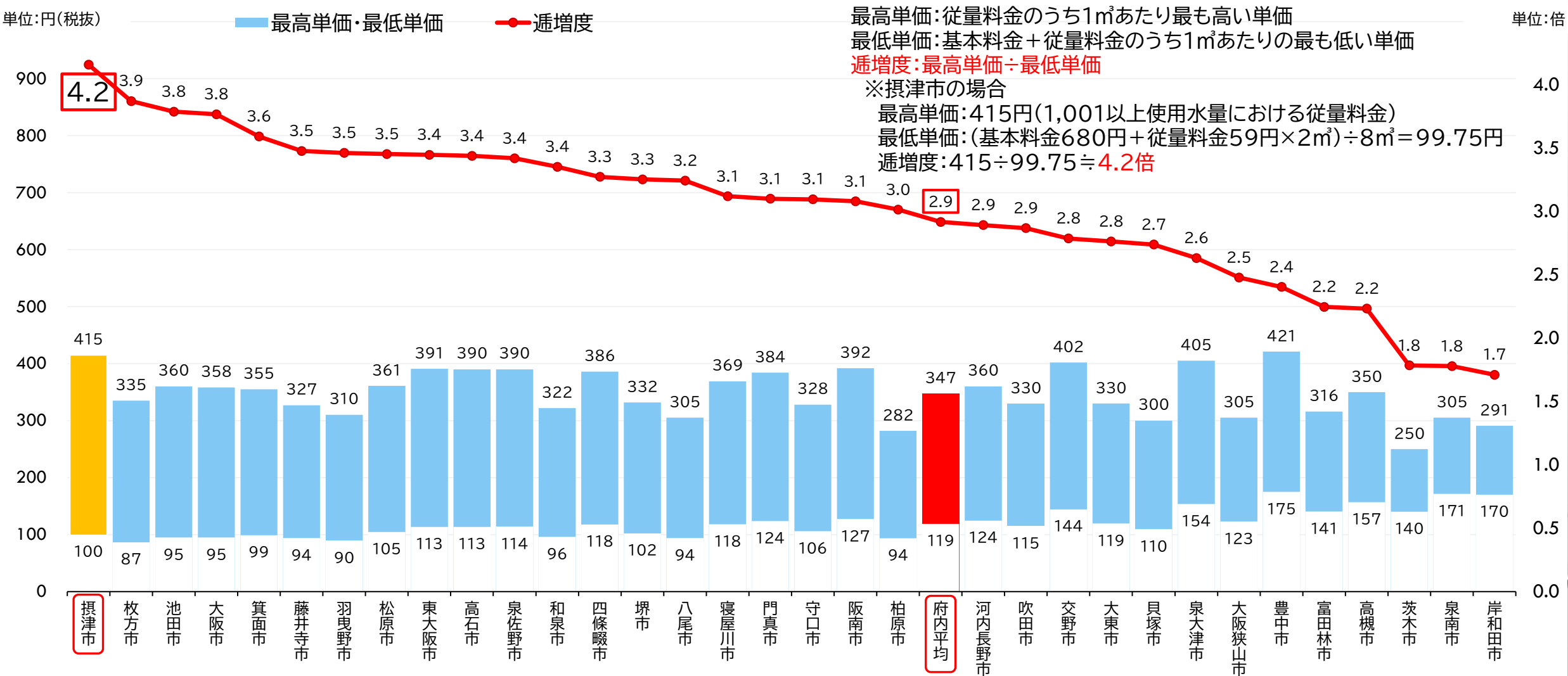
単位:百万円



4. 料金体系上の課題整理

●水道料金の逡増度について

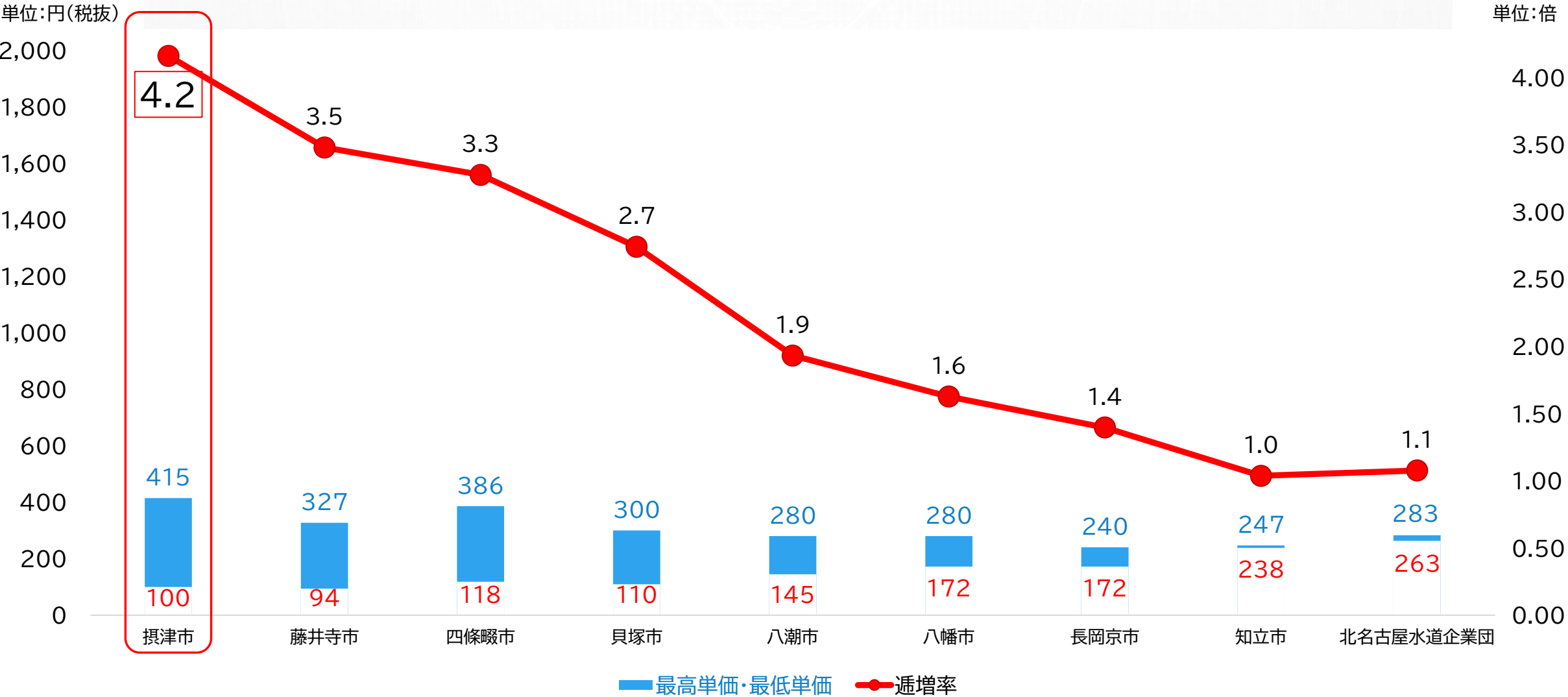
最高単価と最低単価の差を表す逡増度は、大阪府内33市で比較すると摂津市が4.2倍と最も高い水準です。



4. 料金体系上の課題整理

●水道料金の逡増度について

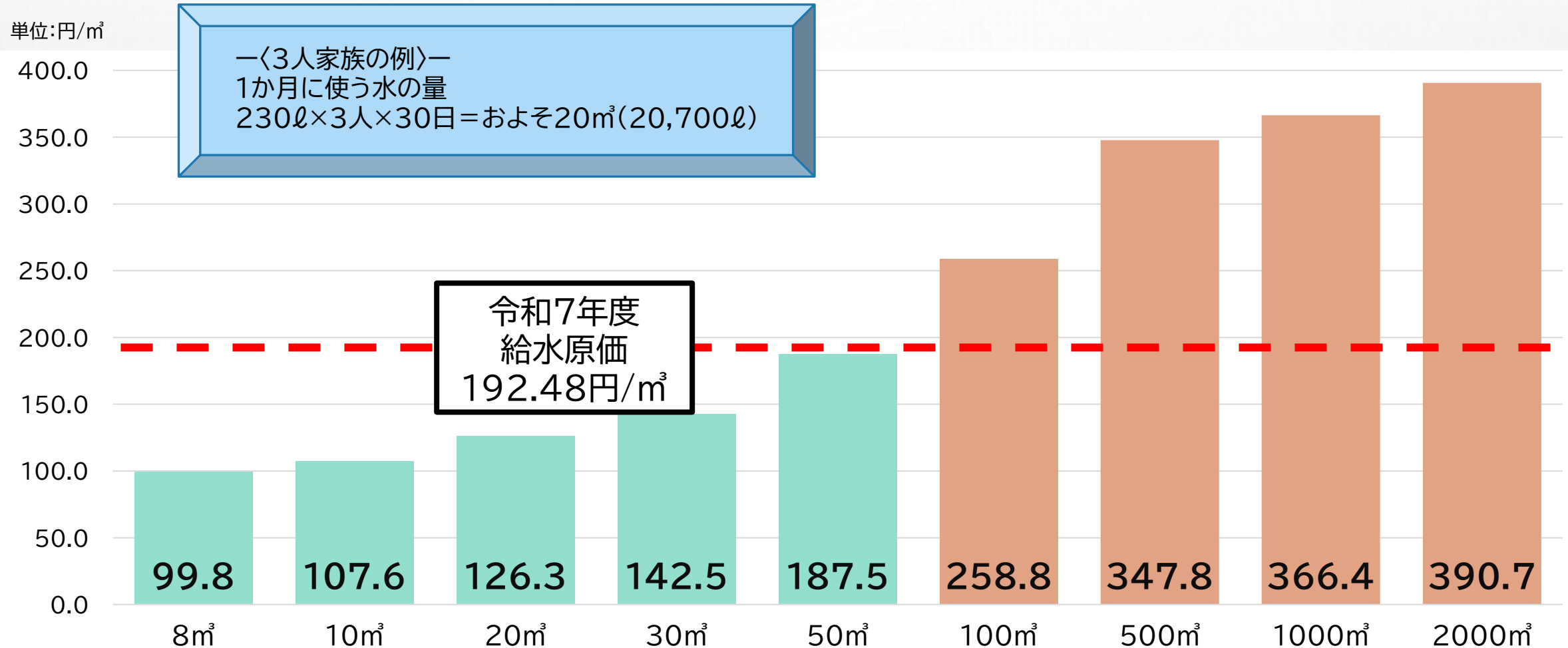
類似事業体との比較においても、摂津市の逡増度が最も高くなっています。



4. 料金体系上の課題整理

●使用水量毎の料金回収率について

現行の料金体系では、1月あたり50m³以下の使用者からの料金収入では給水原価を賄うことができず、100m³以上使用する使用者からの料金収入により収入不足分を補っている状態です。

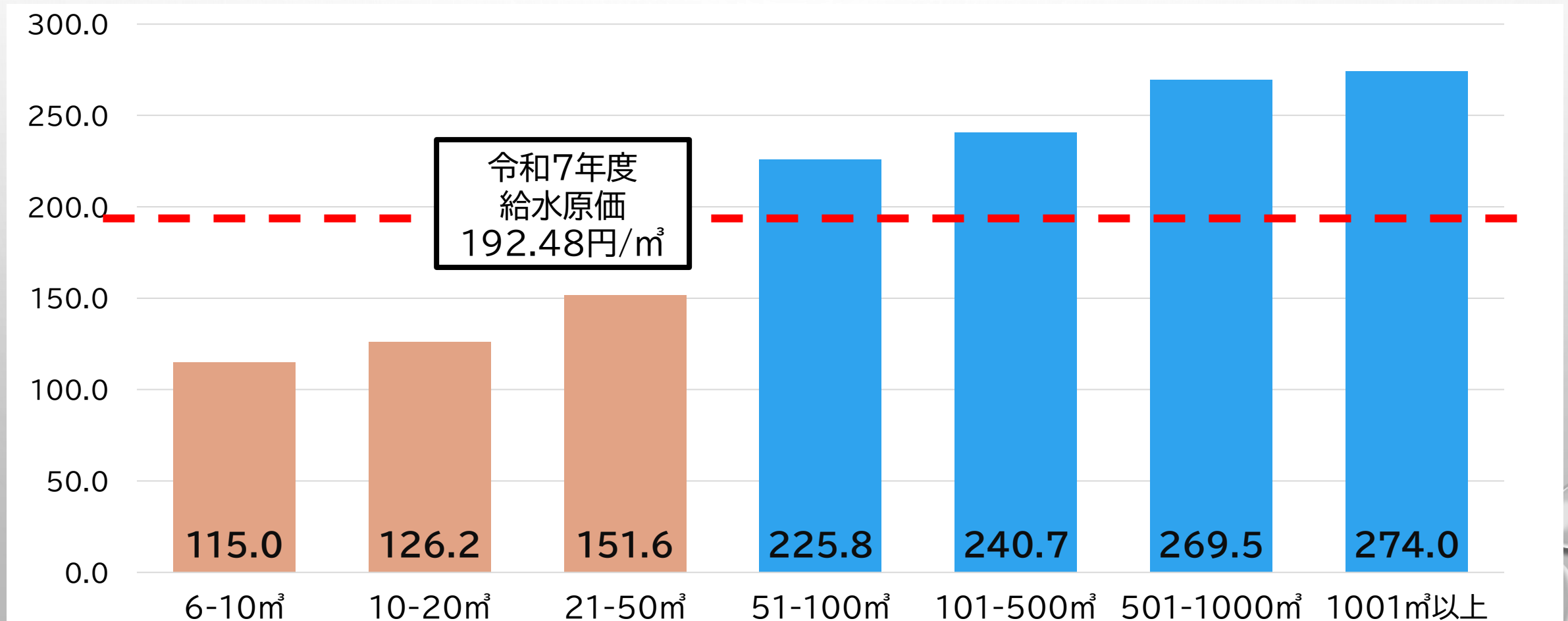


4. 料金体系上の課題整理

●従量料金毎の料金回収率について

令和7年度における従量料金毎の供給単価も同様に1月あたり50m³以下の使用者からの料金収入では給水原価を賄うことができず、50m³以上使用する使用者からの収入により不足分を補っています。

単位:円/m³

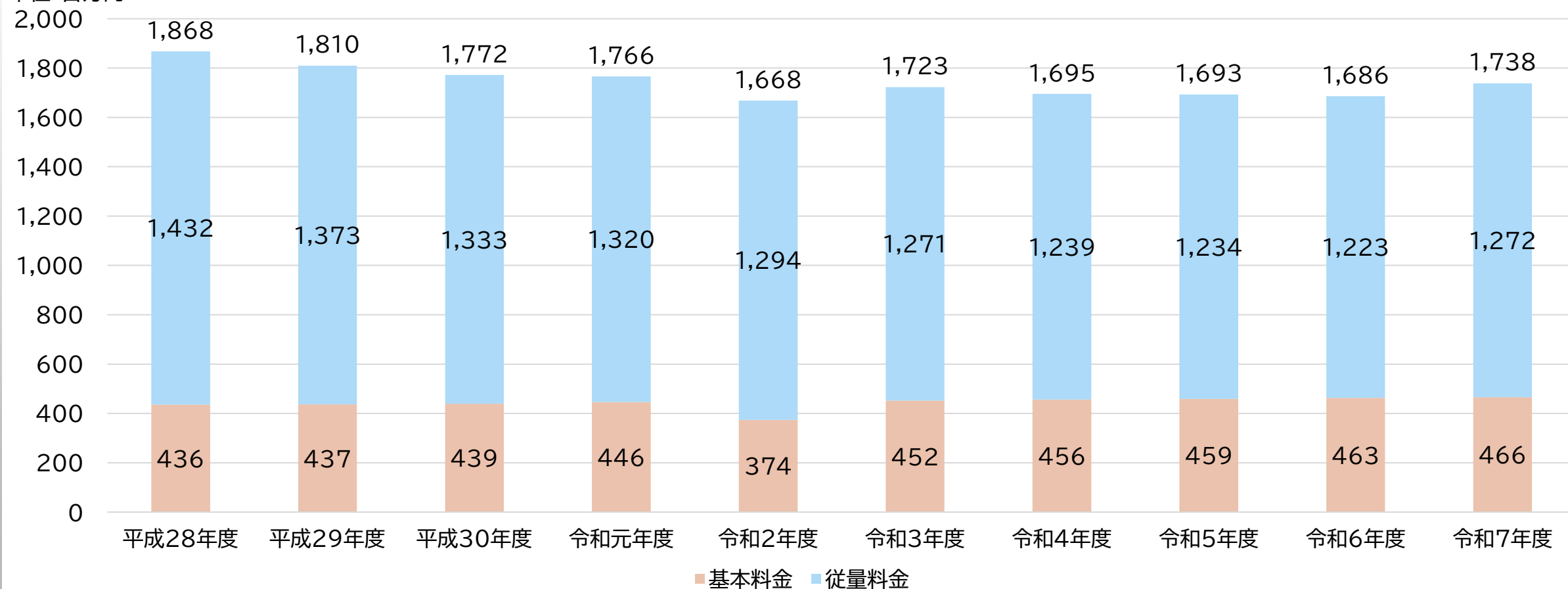


4. 料金体系上の課題整理

●給水収益における基本料金と従量料金の割合

収益全体の約75%を従量料金が占めており、水使用の有無に関わらず発生する固定的な経費である検針費用や水道施設の更新費用(減価償却費)等に対し、基本料金による収益が不足している状態にあります。

単位:百万円



4. 料金体系上の課題整理

① 逓増度について

水道料金における「最高単価」と「最低単価」の差を表す逓増度は、府内事業体及び類似事業体と比較すると、**本市が最も高い水準にあり、水道水を使用するほど、負担が重くなる状態**となっています。公益社団法人日本水道協会が定める「水道料金算定要領」では、従量料金は均一料金制が原則と示され、公平性に課題があるほか、使用水量の多い使用者への負担が大きい状況が続く場合、大量使用者による専用水道への切り替えや移転等により給水収益が大きく減少し、経営に深刻な影響を及ぼすこととなります。

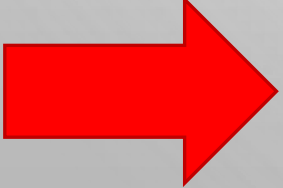
② 基本料金と従量料金の割合について

収益全体における基本料金と従量料金の比率は、およそ1:3となっています。

基本料金は、使用者が等しく負担すべき需要家費(検針費用等)や固定費(減価償却費等)を回収するために設定されるものですが、**現状ではこれらの費用を十分に回収できておらず、従量料金により補填**している状況です。

③ 基本水量の取扱いについて

基本水量とは、基本料金に一定の水量を含めることを言いますが、公衆衛生の向上を急務とする時代であった昭和42年に「水道料金算定要領」において示され、平成9年には経過措置の位置づけに取扱い変更となっています。その後も相当年数が経過しており、公衆衛生向上が急務であった時代ではないこと、節水意識が反映されないこと等、必要性は乏しくなっています。また、近年の世帯人数の減少や水需要の減少により、基本水量の上限(6m³)に満たない使用者が増加しており、**水道使用者の公平性の観点からも課題**があります。



将来にわたり安定的に事業を継続するために、水道事業の基盤強化が図りうるよう必要な水準の料金へ見直すとともに、見直しにあたっては料金体系上の課題を踏まえ、適正な料金体系を検討する必要があります。

4. 料金体系上の課題整理

料金単価表(一般用・1か月単位)

(消費税抜・円)

メーターの 口径	基本料金	従量料金(1m ³ につき)									
		1- 6m ³	7- 8m ³	9- 10m ³	11- 20m ³	21- 30m ³	31- 50m ³	51- 100m ³	101- 500m ³	501- 1,000m ³	1,001m ³ 以上
20mm以下	680	0	59	139	145	175	255	330	370	385	415
25mm	1,380	課題③									
40mm	6,400										
50mm	11,300										
75mm	30,600										
100mm	59,200										
150mm	158,000										
200mm	316,000										
				課題①							

課題②

課題①

5. 料金算定のプロセスについて

●水道法上の水道料金に係る規定について

原則

水道事業は、地方公営企業法の適用がなされ、受益者負担の原則に則った独立採算制が基本となります。
そして、水道料金は水道事業の主たる財源であり、給水サービスの対価として使用者から徴収されるものです。

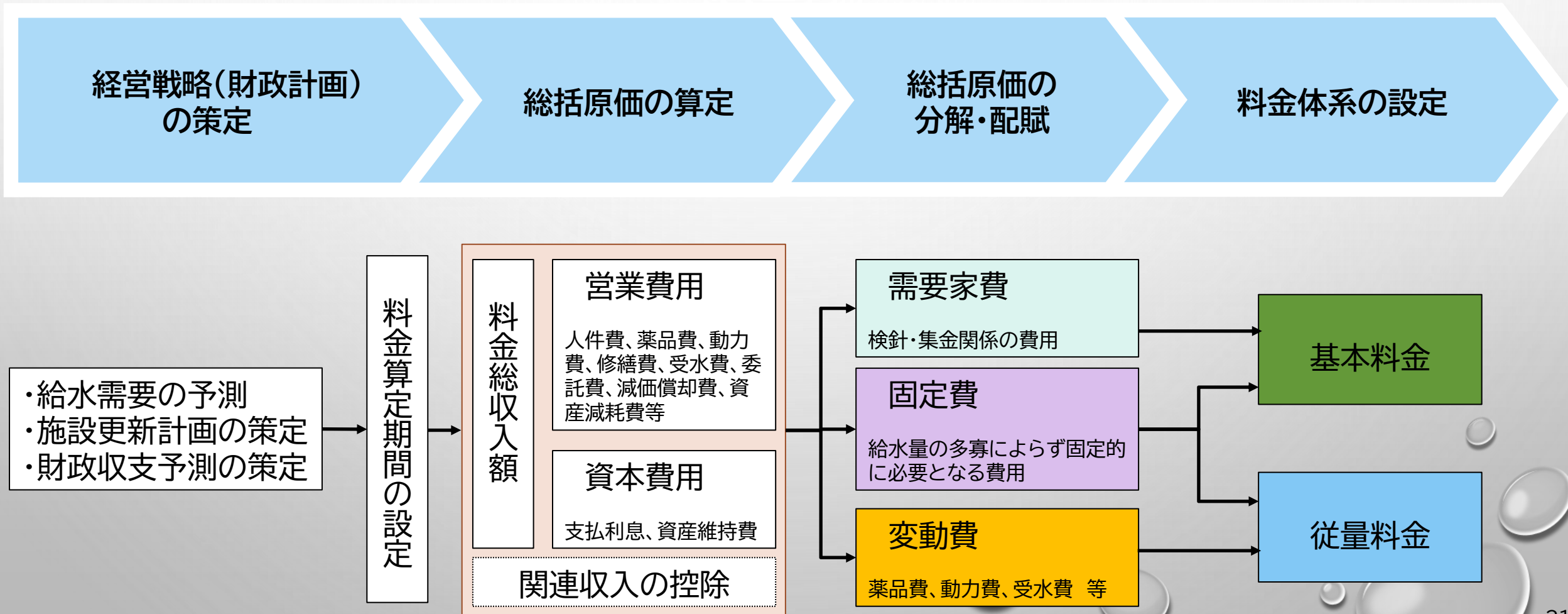
水道法第14条第2項各号

- (1) 料金が、能率的な経営の下における適正な原価に照らし、健全な経営を確保することができる公正妥当なものであること。
- (2) 料金が、定率又は定額をもって明確に定められていること。
- (4) 特定の者に対して不当な差別的取扱いをするものでないこと。

5. 料金算定のプロセスについて

●水道料金算定に係るプロセスについて

公益社団法人日本水道協会が定める「水道料金算定要領」では、経営戦略（財政計画）の策定、総括原価の算定、総括原価の分解・配賦、料金体系の設定により基本料金と従量料金を算定する工程が示されています。



5. 料金算定のプロセスについて

●料金算定期間とは

水道料金算定要領では、料金の安定性、期間的負担の公平、原価把握の妥当性及び水道事業者の経営責任の面など諸々の要素を考慮し、算定時から概ね3年から5年を基準に設定するとあります。

●総括原価方式とは(需要家費、固定費及び変動費とは)

料金算定期間における事業運営に必要な費用(人件費、修繕費、薬品費、受水費、委託費、減価償却費)や支払利息、資産維持費を算出し、これらの費用を賄うために必要な収入が確保できる料金水準を設定する方式です。

総括原価は経費の性質ごとに需要家費、固定費及び変動費に分解されます。

需要家費及び固定費は基本料金へ、変動費は従量料金にそれぞれ配分されます。

需要家費: 使用者の存在により発生する費用で、検針・集金、量水器に係る費用

固定費: 給水量の多寡に関係なく発生する減価償却費や委託費等の費用

変動費: 薬品費や受水費、動力費等給水量の増減に比例して発生する費用

●資産維持費とは

給水サービス水準の維持向上及び施設維持のための原資として、事業内に内部留保し、再投資されるべき額であり、将来の施設の建設改良、企業債の償還等に必要な所要額とし、対象資産額に資産維持率を乗じて算定されます。

6. 総括原価算定と平均改定率について

●総括原価算定における前提条件

(1) 料金算定期間について

料金改定時期	令和9年度	料金算定期間	4年間(令和9年度から令和12年度まで)
--------	-------	--------	----------------------

(2) 収支見通しについて

第2回審議会の審議の結果を踏まえ、シナリオ②(自己水維持)における収支見通しを基準に下記の変更点を反映した収支見通しを採用します。

※収支見通しの変更点

①単価等の実績を令和6年度から令和7年度実績へ変更

供給単価: 185.52円/m³ → 189.32円/m³

薬品単価: 9.39円/m³ → 10.49円/m³

電力単価: 9.51円/m³ → 9.22円/m³

②人件費を令和8年4月1日時点の人員を反映した数値へ変更

③現金預金残高と企業債残高とのバランスを考慮し、企業債充当割合を変更

起債充当割合: 50%～90% → 60%～65%へ平準化

6. 総括原価算定と平均改定率について

●総括原価算定における前提条件

(3)料金算定期間における目標数値

持続可能かつ健全な事業運営を維持するため、令和12年度末において以下の経営指標の目標を達成するために必要な給水収益を検討します。

パターン①

項目	目標水準
経常収支比率	100%以上を維持
現金預金残高	給水収益の6か月以上相当分を確保
企業債残高対給水収益比率	400%以内

パターン②

項目	目標水準
料金回収率	100%以上を維持
現金預金残高	給水収益の6か月以上相当分を確保
企業債残高対給水収益比率	400%以内

※各指標の説明及び算出式	説 明	算出式
経常収支比率	経常収益に対する経常費用の割合を表し、経営の効率性と収益性を示す。	経常収益/経常費用×100
料金回収率	供給単価に対する給水原価の割合を表し、水道料金の収益性を示す。	供給単価/給水原価×100
企業債残高対給水収益比率	企業債残高に対する給水収益の割合を表し、借入の規模と健全性を示す。	企業債残高合計/給水収益×100

6. 総括原価算定と平均改定率について

●収益的収支の将来見通しについて

単位: 千円、税抜金額

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収益的收入	給水収益	1,686,476	1,737,575	1,705,912	1,695,674	1,679,690	1,669,751	1,649,745	1,640,261	1,617,008	1,603,627	1,584,920	1,577,602	1,554,910
	受託工事収益	20,520	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967
	長期前受金戻入	37,922	38,428	39,040	38,991	36,423	35,956	36,069	36,862	37,634	38,655	40,298	42,279	43,460
	その他	200,191	178,262	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094
収益的收入合計		1,945,109	1,977,232	1,945,013	1,934,726	1,916,174	1,905,768	1,885,875	1,877,184	1,854,703	1,842,343	1,825,279	1,819,942	1,798,431
収益的支出	職員給与費	194,855	194,606	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441
	退職給付費	50,000	0	0	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	修繕費	91,506	118,132	137,039	125,294	139,662	132,412	141,914	143,274	151,482	146,621	154,768	139,105	147,917
	薬品費	18,129	19,308	19,964	19,769	19,820	19,864	19,900	19,986	20,066	20,150	20,280	20,403	20,516
	動力費	90,777	90,986	92,343	93,882	95,140	97,393	99,100	101,480	103,040	105,250	107,140	109,837	111,490
	受水費	564,918	574,182	579,724	575,422	567,787	567,165	562,320	561,444	554,794	552,250	547,134	546,733	539,907
	減価償却費	415,321	427,755	433,553	457,839	483,030	532,361	590,146	670,656	702,738	739,878	797,459	826,098	871,841
	企業債利息	45,698	49,872	58,294	75,380	106,582	148,618	172,408	199,298	213,031	226,939	247,379	256,740	273,256
	材料費	4,927	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215
	委託料	296,654	286,499	294,438	312,029	339,270	330,415	331,224	349,917	360,112	372,714	381,414	383,758	395,226
	その他	34,887	37,499	32,106	32,356	32,745	32,959	33,250	32,489	32,564	33,058	32,418	32,686	32,317
	受託工事費	25,280	27,575	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286
収益的支出合計		1,832,952	1,832,629	1,886,403	1,945,913	2,037,978	2,115,129	2,204,204	2,332,486	2,391,769	2,450,802	2,541,934	2,569,302	2,646,412
当年度純利益		112,157	144,603	58,610	△ 11,187	△ 121,804	△ 209,361	△ 318,329	△ 455,302	△ 537,066	△ 608,459	△ 716,655	△ 749,360	△ 847,981
経常収支比率		106.12%	107.89%	103.11%	99.43%	94.02%	90.10%	85.56%	80.48%	77.55%	75.17%	71.81%	70.83%	67.96%
有収水量 (千㎡)		9,090	9,178	9,011	8,957	8,872	8,820	8,714	8,664	8,541	8,470	8,372	8,333	8,213
供給単価 (円/㎡)		185.53	189.32	189.31	189.31	189.32	189.31	189.32	189.32	189.32	189.33	189.31	189.32	189.32
給水原価 (円/㎡)		194.69	192.48	201.87	209.74	222.42	232.53	245.56	261.70	272.32	281.45	295.43	299.86	313.49
料金回収率		95.29%	98.36%	93.78%	90.26%	85.12%	81.42%	77.10%	72.34%	69.52%	67.27%	64.08%	63.14%	60.39%

料金算定期間

6. 総括原価算定と平均改定率について

●総括原価と平均改定率について(パターン①)

総括原価の項目		料金算定期間の費用合計
営業費用	職員給与費	877,764千円
	修繕費	539,282千円
	薬品費	79,353千円
	動力費	385,515千円
	受水費	2,272,694千円
	減価償却費	2,063,376千円
	委託費・その他	1,469,108千円
資本費用	支払利息	461,479千円
	資産維持費	995,329千円
総括原価計①		9,143,900千円

控除収益(長期前受金戻入等)②	708,376千円
-----------------	-----------

総括原価合計①(①－②)	8,435,524千円
--------------	-------------

料金算定期間の給水収益合計③	
R9	1,695,674千円
R10	1,679,690千円
R11	1,669,751千円
R12	1,649,745千円
合計	6,694,860千円

不足額(①－③):1,740,664千円

平均改定率:26%

6. 総括原価算定と平均改定率について

●収益的収支の将来見通しについて(パターン①料金改定後)

単位:千円 税抜金額

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収益的收入	給水収益	1,686,476	1,737,575	1,705,912	2,136,550	2,116,409	2,103,887	2,078,679	2,066,729	2,037,430	2,020,570	1,996,999	1,987,780	1,959,186
	受託工事収益	20,520	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967
	長期前受金戻入	37,922	38,428	39,040	38,991	36,423	35,203	35,093	35,885	36,658	37,679	39,322	41,303	42,484
	その他	200,191	178,262	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094
収益的收入合計		1,945,109	1,977,232	1,945,013	2,375,602	2,352,893	2,339,151	2,313,833	2,302,675	2,274,149	2,258,310	2,236,382	2,229,144	2,201,731
収益的支出	職員給与費	194,855	194,606	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441
	退職給付費	50,000	0	0	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	修繕費	91,506	118,132	137,039	125,294	139,662	132,412	141,914	143,274	151,482	146,621	154,768	139,105	147,917
	薬品費	18,129	19,308	19,964	19,769	19,820	19,864	19,900	19,986	20,066	20,150	20,280	20,403	20,516
	動力費	90,777	90,986	92,343	93,882	95,140	97,393	99,100	101,480	103,040	105,250	107,140	109,837	111,490
	受水費	564,918	574,182	579,724	575,422	567,787	567,165	562,320	561,444	554,794	552,250	547,134	546,733	539,907
	減価償却費	415,321	427,755	433,553	457,839	483,030	532,361	590,146	670,656	702,738	739,878	797,459	826,098	871,841
	企業債利息	45,698	49,872	58,294	75,380	97,298	127,594	161,207	198,506	218,589	238,957	267,789	282,196	304,770
	材料費	4,927	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215
	委託料	296,654	286,499	294,438	312,029	339,270	330,415	331,224	349,917	360,112	372,714	381,414	383,758	395,226
	その他	34,887	37,499	32,106	32,356	32,745	32,959	33,250	32,489	32,564	33,058	32,418	32,686	32,317
	受託工事費	25,280	27,575	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286
収益的支出合計		1,832,952	1,832,629	1,886,403	1,945,913	2,028,694	2,094,105	2,193,003	2,331,694	2,397,327	2,462,820	2,562,344	2,594,758	2,677,926
当年度純利益		112,157	144,603	58,610	429,689	324,199	245,046	120,830	△ 29,019	△ 123,178	△ 204,510	△ 325,962	△ 365,614	△ 476,195
経常収支比率		106.12%	107.89%	103.11%	122.08%	115.98%	111.70%	105.51%	98.76%	94.86%	91.70%	87.28%	85.91%	82.22%
有収水量 (千㎡)		9,090	9,178	9,011	8,957	8,872	8,820	8,714	8,664	8,541	8,470	8,372	8,333	8,213
供給単価 (円/㎡)		185.52	189.32	189.31	238.53	238.55	238.54	238.54	238.54	238.55	238.56	238.53	238.54	238.55
給水原価 (円/㎡)		194.69	192.48	201.87	209.74	221.37	230.23	244.39	261.72	273.08	282.98	297.99	303.03	317.44
料金回収率		95.29%	98.36%	93.78%	113.73%	107.76%	103.61%	97.61%	91.14%	87.35%	84.30%	80.05%	78.72%	75.15%

※給水収益は人口予測により変動しますが、端数処理の関係でP26の総括原価合計と一致しない場合があります。

料金算定期間

6. 総括原価算定と平均改定率について

●総括原価と平均改定率について(パターン②)

総括原価の項目		料金算定期間の費用合計
営業費用	職員給与費	877,764千円
	修繕費	539,282千円
	薬品費	79,353千円
	動力費	385,515千円
	受水費	2,272,694千円
	減価償却費	2,063,376千円
	委託費・その他	1,469,108千円
資本費用	支払利息	447,625千円
	資産維持費	1,210,028千円
総括原価計①		9,344,745千円
控除収益(長期前受金戻入等)②		708,376千円
総括原価合計①(①－②)		8,636,369千円

料金算定期間の給水収益合計③	
R9	1,695,674千円
R10	1,679,690千円
R11	1,669,751千円
R12	1,649,745千円
合計	6,694,860千円

不足額(①－③):1,941,509千円

平均改定率:29%

6. 総括原価算定と平均改定率について

●収益的収支の将来見通しについて(パターン②料金改定後)

単位:千円 税抜金額

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収益的収入	給水収益	1,686,476	1,737,575	1,705,912	2,187,420	2,166,800	2,153,980	2,128,171	2,115,937	2,085,940	2,068,679	2,044,546	2,035,108	2,005,833
	受託工事収益	20,520	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967	22,967
	長期前受金戻入	37,922	38,428	39,040	38,991	36,423	35,203	35,093	35,885	36,658	37,679	39,322	41,303	42,484
	その他	200,191	178,262	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094	177,094
収益的収入合計		1,945,109	1,977,232	1,945,013	2,426,472	2,403,284	2,389,244	2,363,325	2,351,883	2,322,659	2,306,419	2,283,929	2,276,472	2,248,378
収益的支出	職員給与費	194,855	194,606	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441	204,441
	退職給付費	50,000	0	0	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	修繕費	91,506	118,132	137,039	125,294	139,662	132,412	141,914	143,274	151,482	146,621	154,768	139,105	147,917
	薬品費	18,129	19,308	19,964	19,769	19,820	19,864	19,900	19,986	20,066	20,150	20,280	20,403	20,516
	動力費	90,777	90,986	92,343	93,882	95,140	97,393	99,100	101,480	103,040	105,250	107,140	109,837	111,490
	受水費	564,918	574,182	579,724	575,422	567,787	567,165	562,320	561,444	554,794	552,250	547,134	546,733	539,907
	減価償却費	415,321	427,755	433,553	457,839	483,030	532,361	590,146	670,656	702,738	739,878	797,459	826,098	871,841
	企業債利息	45,698	49,872	58,294	75,380	95,326	123,064	153,855	188,074	206,430	225,037	251,461	264,577	285,360
	材料費	4,927	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215
	委託料	296,654	286,499	294,438	312,029	339,270	330,415	331,224	349,917	360,112	372,714	381,414	383,758	395,226
	その他	34,887	37,499	32,106	32,356	32,745	32,959	33,250	32,489	32,564	33,058	32,418	32,686	32,317
	受託工事費	25,280	27,575	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286	28,286
収益的支出合計		1,832,952	1,832,629	1,886,403	1,945,913	2,026,722	2,089,575	2,185,651	2,321,262	2,385,168	2,448,900	2,546,016	2,577,139	2,658,516
当年度純利益		112,157	144,603	58,610	480,559	376,562	299,669	177,674	30,621	△ 62,509	△ 142,481	△ 262,087	△ 300,667	△ 410,138
経常収支比率		106.12%	107.89%	103.11%	124.70%	118.58%	114.34%	108.13%	101.32%	97.38%	94.18%	89.71%	88.33%	84.57%
有収水量 (千㎡)		9,090	9,178	9,011	8,957	8,872	8,820	8,714	8,664	8,541	8,470	8,372	8,333	8,213
供給単価 (円/㎡)		185.52	189.32	189.31	244.21	244.23	244.22	244.22	244.22	244.23	244.24	244.21	244.22	244.23
給水原価 (円/㎡)		194.69	192.48	201.87	209.74	221.15	229.71	243.55	260.51	271.66	281.34	296.04	300.92	315.08
料金回収率		95.29%	98.36%	93.78%	116.44%	110.44%	106.31%	100.28%	93.75%	89.90%	86.81%	82.49%	81.16%	77.51%

※給水収益は人口予測により変動しますが、端数処理の関係でP28の総括原価合計と一致しない場合があります。

料金算定期間

6. 総括原価算定と平均改定率について

●経営指標の将来見通しについて(パターン①)

(改定前)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
経常収支比率	106.12%	107.89%	103.11%	99.43%	94.02%	90.10%	85.56%
料金回収率	95.29%	98.36%	93.78%	90.26%	85.12%	81.42%	77.10%
現金預金残高(千円)	2,941,635	2,851,665	2,510,905	2,295,360	2,016,053	953,590	△ 342,210
企業債残高(千円)	4,687,756	4,670,125	4,958,989	5,672,073	6,777,836	7,413,079	8,151,168
企業債残高対給水収益比率	277.96%	268.77%	290.69%	334.50%	403.52%	443.96%	494.09%

(改定後)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
経常収支比率	106.12%	107.89%	103.11%	122.08%	115.98%	111.70%	105.51%
料金回収率	95.29%	98.36%	93.78%	113.73%	107.76%	103.61%	97.61%
現金預金残高(千円)	2,941,635	2,642,568	2,301,808	2,231,932	2,006,919	1,688,666	1,154,743
企業債残高(千円)	4,687,756	4,670,125	4,958,989	5,395,073	6,142,616	7,076,812	8,136,643
企業債残高対給水収益比率	277.96%	268.77%	290.69%	252.51%	290.24%	336.37%	391.43%

改定

6. 総括原価算定と平均改定率について

●経営指標の将来見通しについて(パターン②)

(改定前)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
経常収支比率	106.12%	107.89%	103.11%	99.43%	94.02%	90.10%	85.56%
料金回収率	95.29%	98.36%	93.78%	90.26%	85.12%	81.42%	77.10%
現金預金残高(千円)	2,941,635	2,851,665	2,510,905	2,295,360	2,016,053	953,590	△ 342,210
企業債残高(千円)	4,687,756	4,670,125	4,958,989	5,672,073	6,777,836	7,413,079	8,151,168
企業債残高対給水収益比率	277.96%	268.77%	290.69%	334.50%	403.52%	443.96%	494.09%

(改定後)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
経常収支比率	106.12%	107.89%	103.11%	124.70%	118.58%	114.34%	108.13%
料金回収率	95.29%	98.36%	93.78%	116.44%	110.44%	106.31%	100.28%
現金預金残高(千円)	2,941,635	2,642,568	2,301,808	2,224,102	1,973,829	1,624,384	1,052,115
企業債残高(千円)	4,687,756	4,670,125	4,958,989	5,336,373	6,006,293	6,854,674	7,819,315
企業債残高対給水収益比率	277.96%	268.77%	290.69%	243.96%	277.20%	318.23%	367.42%

改定

7. 今後のスケジュールについて

●今後のスケジュール(案)

第1回

○審議内容
水道事業の現状と課題について①

- ・摂津市上下水道事業経営審議会について
- ・水道事業の概要について
- ・施設の現状について
- ・財源の状況について
- ・広域連携について

令和8年2月10日

第2回

○審議内容
水道事業の現状と課題について②

- ・収益的収入及び支出について
- ・財務状況について
- ・水道事業における課題整理
- ・将来見通しについて

令和8年4月15日

第3回

○審議内容
経営改善策について①

- ・水道料金の現状について
- ・料金体系上の課題整理
- ・料金算定のプロセスについて
- ・総括原価算定と平均改定率について

令和8年7月2日

第4回

○審議内容(案)
経営改善策について②

- ・個別原価算定について
- ・料金体系の検討について
- ・新たな料金表について
- ・水道料金の新旧比較
- ・その他の経営改善策について

令和8年8月31日

第5回

○審議内容(案)
答申案の検討について

令和8年9月

第6回

○審議内容(案)
答申案の検討及び答申

令和8年10月